

配布先

参 60
本 45
本東 130
芳 90
他 20



【ご神紋】

回覧 氏子崇敬者様

地元の氏神様 奈良時代より1300年

式内 津毛利神社 だより

式内社とは平安時代中期の延喜式神名帳に記載された古い歴史ある古社です。

令和5年4月（不定期）

〒430-0816 浜松市南区
参野町113

第5号

氏子総代

活動報告

■2月12日に「祈年祭」が自治会長・役員同席で行われました。

「祈年祭」とは、前号でご案内の通り、年間の3大神事の一つで、今年の五穀豊穰（生業繁栄）を祈願して行われます。（秋は新嘗祭が行われます。）

今年も矢野宮司により、各町の自治会長・役員参列のもと、地域の五穀豊穰（生業繁栄）を祈願し拝殿にて行なわれたことを報告します。



祈年祭

■3月16日には「新入学児童祈願祭」が各町から11名の新一年生が参加し拝殿で行われました。

ピカピカの一年生が家族といっしょに本殿の前で玉串を上げて、今後の「学業安全」と「元気で成長される」ことを祈願させていただきました。

帰りには、「お守り」と「お菓子」を差上げました。また、拝殿奥の祭壇の前で矢野宮司と共に記念写真をとっていただきました。



みんな元気で大きくなーれ！



奈良時代より1300年前（奈良時代）に遠州浜の鎮守として創建、その後当時舞阪から掛塚まで46ヶ村の総鎮守として尊崇されました。地域の氏神様として、祈年祭・例大祭・月次祭など年間18回余の祭事を斎行し、皆様の安全と繁栄を祈願しております。

神社名：

津毛利神社

祭神：

底筒男命

中筒男命

上筒男命

皆様のおいでをお待ちしています。



■津毛利神社の活動（運営）は初穂料により行われています。

■津毛利神社のご祭神について

津毛利神社のご祭神は奈良時代、藤原不比等らより海上交通の安全を祈願し、大阪の住吉大社より御分霊されました。ご祭神は伊邪那岐神が黄泉の国より穢れ（けがれ）を受けて帰還し、海中に入って禊（みそぎ）をしたときに生まれたとされています。三神は三貴子（天照大御神・月読命・須佐之男命）より先だて生まれた神で、海の神様より大きな「祓い神」という大切な神格をもっています。三神は「国家守護」の神としても信仰され、遣唐使の出発の時は朝廷より幣帛を奉られるなど崇敬を受けていました。 一部 大宰府天満宮 西高辻宮司より

ご祭神

ウワツツオノミコト
表筒男命

ナカツツオノミコト
中筒男命

ソコツツオノミコト
底筒男命



1500年代（戦国時代）の地図

《今後の祭事予定》

- ・月次祭 3月16日
- ・初子祈願祭 5月2日
- ・月次祭 6月11日

氏子様は月次祭に参加できます。ぜひご参加・ご参拝をお待ちしております。

それぞれ午前10：00～

氏子総代

神事を通じて地元の皆様をお守り、地域の皆様の家内安全、生業繁栄を祈願しています。

矢野宮司



矢野宮司・若松宮司

<日頃より、津毛利神社の活動・運営に対しご支援・ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。>